

■ 第6回都市計画マスタープラン策定委員会における主な意見と対応

章	項目	主なご意見等	対応・変更点	該当箇所
第1章		—	• 一部文言修正	第1章全体
第2章		—	• ひととまちのそれぞれの現況が明確になるよう、事務局にて構成を修正し、図表を差替え。	第2章全体
第3章	将来都市構造	• 「谷中生活・文化調和ゾーン」という言葉が気になる。拠点でもよいのではないか。	• 谷中地域は機能の集積を目指す拠点ではなく、面的に特色が広がる地域であることから、既存の表現（「谷中生活・文化調和ゾーン」）のまま標記。	p3-5
	将来地域像	• 将来像としての表現が甘い。もっと踏み込むべき。	• 将来地域像のコメントを修正。	p3-9
		• 北部地域では「国際色豊か」や「共生」といった言葉が入るとよい。	• 将来地域像の浅草通り周辺の色を変更し、コメントを追加。	p3-9
		• 浅草通りについて、将来都市構造では文化・観光連携軸の位置付けがありながら周辺と同じ色塗りとなっていることに違和感がある。	• 「文人墨客」を削除。	p3-9
土地利用方針	—	• 将来地域像や地域別まちづくり方針での議論をもとに、新たな土地利用方針図を提示。（基本的な土地利用区分に加え、ものづくりや歴史・文化等の特色を強化するエリアを表示）	p3-14	
第4章	全体	—	• 庁内関係部署へのヒアリング等をもとに、事務局にて構成・文言等を修正。	第4章全体
第5章	全体	• 全体的に若い人を入れたいという意図はよく伝わるが、「高齢者が暮らしやすい」という視点が抜けている。	• 「第4章：分野別まちづくり方針」の「生活・住宅まちづくり方針」に方向性を記載。（高齢者が暮らしやすい住宅整備、いつまでも健康でいられるまちづくり等）	p4-3
		• リノベーションは手法の一つであり、リノベーションまちづくりが目的になるのは違う。	• 「リノベーション」という言葉を削除し、「既存ストックの活用」や「機能転換」を手段として例示的に記載。	第5章全体
		• 将来的にマンション密集市街地になってしまわないよう、今から方策を考えておいた方がよい。	• 「第6章まちづくりの実現に向けて」において、今後の良好な市街地環境の誘導に向けた取り組みを記載。（市街地・街並み・都市機能に係る現況調査の実施や今後講ずべき誘導・規制方策の検討）	p6-11
		—	• その他庁内へのヒアリング等をもとに、事務局にて構成・文言等を修正。	第5章全体
上野地域		• 水とみどりのエリアと国際観光・賑いエリアの回遊性や上野公園の中の動線を強調した方がよい。	• 上野地域まちづくり方針図に、「みち」の表示を追加。	p5-7
		• 散策だけではなく泊まる受け皿（宿泊機能）も必要である。	• 上野地域まちづくり方針の文章に、宿泊機能の誘導について記載。	p5-4
	• 上野広小路駅や上野御徒町駅等のJR御徒町駅周辺の駅も表現する必要がある。	• 上野地域まちづくり方針図に、JR御徒町駅周辺の駅を追加。	p5-7	

章	項目	主なご意見等	対応・変更点	該当箇所
第5章	谷中地域	<ul style="list-style-type: none"> 保存や活用といった視点が弱い。守るものは守るというメッセージを伝えるべきである。 寺町という言葉在前面に出してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 谷中地域まちづくり方針の文章に、歴史を伝える建物や寺町としての情緒の保存・活用について記載。 	p5-10
		<ul style="list-style-type: none"> 低層の街並みが基本であることを示すため、中高層を許容するゾーンが限られていることを示しておいた方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 谷中地域まちづくり方針の文章を、低層の街並みを守るゾーンを基本としつつ、一部で中高層を許容するゾーンがある旨がわかるよう修正。 	p5-10
	浅草・中部地域	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客をはじめ多くの人を訪れるので、防災の視点を強めた方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 浅草地域まちづくり方針に、「防災性の高いまちづくり」の項目を追加。 	p5-16
		<ul style="list-style-type: none"> 国際観光・賑いエリアが言問通りとかっぱ橋道具街の間に表示されている、浅草通り沿道に表示されていないなど、適切ではない印象を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 浅草地域まちづくり方針図を修正。 	p5-19
	根岸・入谷地域	<ul style="list-style-type: none"> 上野公園の台地と低地のまちを結ぶ旨を、鶯谷駅周辺の項目にも追加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 根岸・入谷地域まちづくり方針の文章に、高低差のある上野公園と市街地の移動動線について記載。 	p5-22
		<ul style="list-style-type: none"> 「文人墨客」という表現は見直してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 根岸地域の将来像から「文人墨客」を削除。 	p5-21
		<ul style="list-style-type: none"> 幅員のある道路沿道では高い建物が建ち、後背地は低い建物が残っているだけで低層を誘導できているわけではない。誘導したいのであれば方向性を定める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的幅員のある道路沿道における建物の、周辺市街地の環境への配慮について記載。 	p5-22
	北部地域	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域では「交流」よりも「共生」というキーワードの方がふさわしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来地域像及び北部地域の将来像として、「共生」を追加。 	p3-9 p5-27
		<ul style="list-style-type: none"> 将来的にマンションだけにならないように、多様な用途を残していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 良質な住宅の誘導に加え、地域の価値を高めるため、生活に必要な機能の誘導やみどり・オープンスペースの創出、コミュニティの活性化、交流の場の創出等について記載。 	p5-28, 29
	南部地域	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の再生をどのように進めていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 庁内所管課と調整の上、「再生」ではなく、「活性化」や「活用」といった視点へ変更し記載。 	p5-34
第6章		—	<ul style="list-style-type: none"> 都市マス策定後に取り組む事項について、概要を記載。 	p6-11